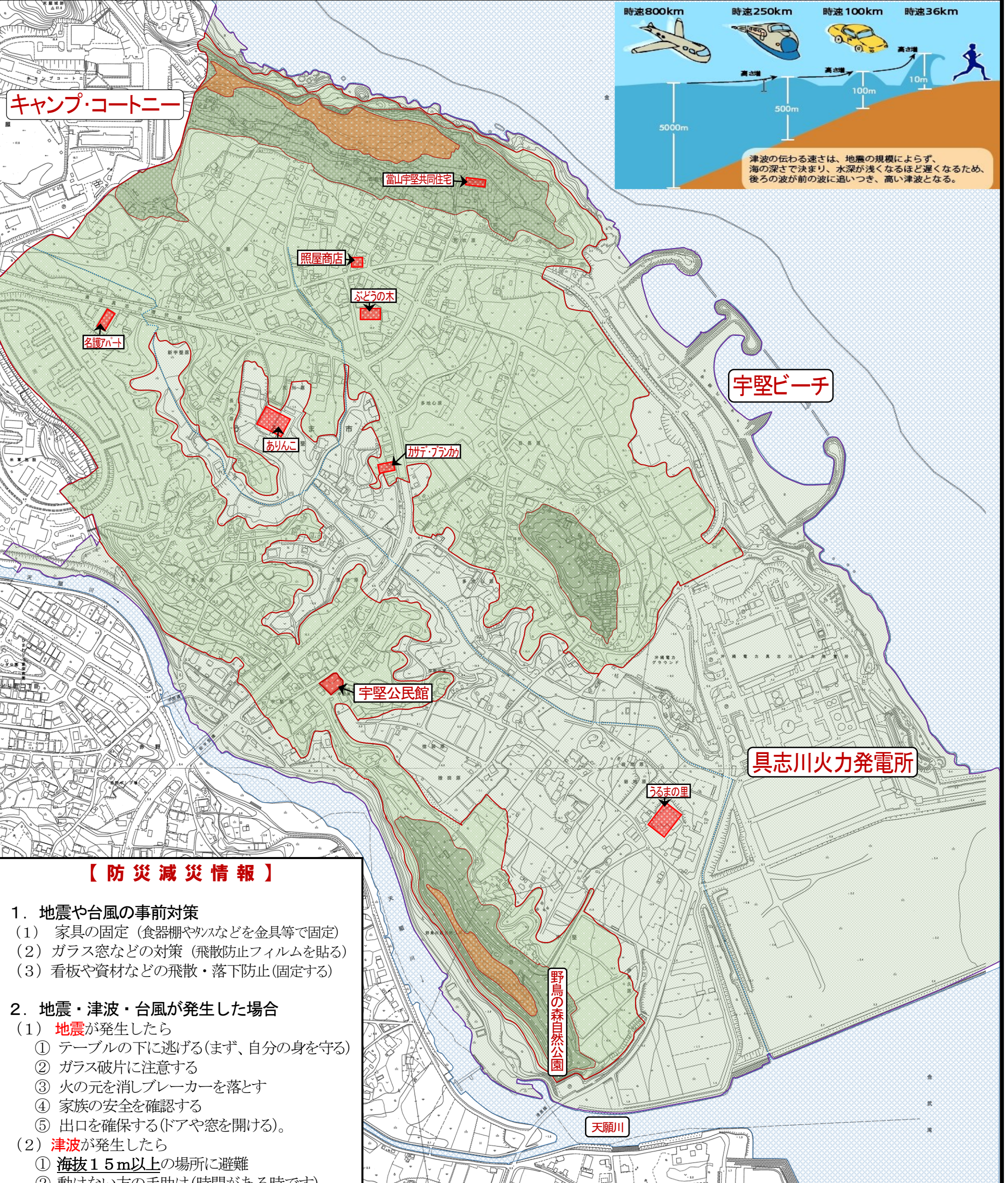
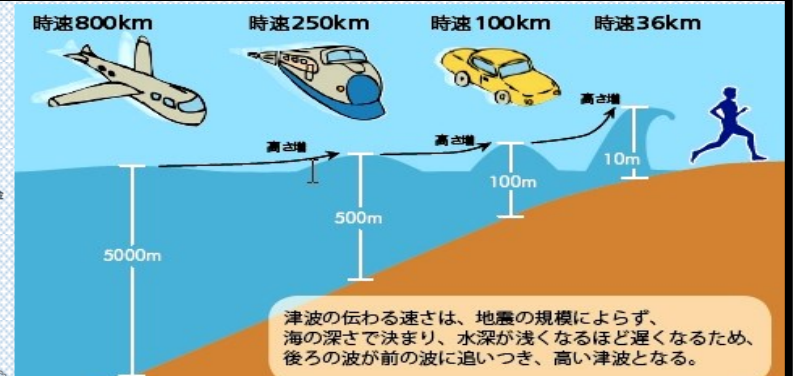


宇堅防災減災情報図

10mごとの標高(海拔)を示した図です。ご自宅の位置に印を付けてください。
また、下段の防災減災情報もご確認ください。

津波は、海が深いほど速く伝わり、浅くなるにつれて速度は遅くなります。しかし、海岸近くでもオリンピックの短距離選手並の速さで迫ってくるので、津波を見てから避難を始めたのでは遅いのです。さらに、津波の速度が遅くなると、後ろの波が前の波に追いついて高い津波となり、また、反射を繰り返すことで津波が何回も押し寄せることがあります。数多くの観測点で第2波以降に最大波を記録しています。(内閣府：防災情報ページより)

沖縄で最大クラスの津波が起こった場合、宇堅では、地震発生後 28分で到達し、12.3mまで遡上します。(沖縄県「津波浸水想定図」2013(平成25)年3月)。



【 防 災 減 災 情 報 】

1. 地震や台風の事前対策

- (1) 家具の固定 (食器棚やタンスなどを金具等で固定)
- (2) ガラス窓などの対策 (飛散防止フィルムを貼る)
- (3) 看板や資材などの飛散・落下防止(固定する)

2. 地震・津波・台風が発生した場合

- (1) **地震**が発生したら
 - ① テーブルの下に逃げる(まず、自分の身を守る)
 - ② ガラス破片に注意する
 - ③ 火の元を消しブレーカーを落とす
 - ④ 家族の安全を確認する
 - ⑤ 出口を確保する(ドアや窓を開ける)。
- (2) **津波**が発生したら
 - ① **海拔15m以上**の場所に避難
 - ② 動けない方の手助け(時間がある時です)
- (3) **台風**が発生したら
 - ① 外にある物の飛散対策の確認
 - ② 停電にそなえる
 - ・電源や照明の確保 (電池やライトの準備)
 - ・ペットボトルに氷を作る (冷蔵庫の保冷用)

